



写真：アフロスポーツ/JOC

# 御 挨拶

公益財団法人 日本オリンピック委員会

会長 山下 泰裕

JOC ジュニアオリンピックカップ第48回全日本高校ボウリング選手権大会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

日本オリンピック委員会（JOC）では、オリンピック、世界選手権大会等の国際競技大会において、活躍が期待できる選手の発掘、育成を目的に、1992年から本会加盟団体が開催するジュニア競技大会を「JOC ジュニアオリンピックカップ大会」と認定し、ジュニア層の競技レベルの向上に努めてまいりました。

その後、JOC 選手強化本部では「人間力なくして競技力向上なし」の合言葉のもと、選手の育成・強化を通じて、人間力も高めつつ、国際競技力の向上に取り組んでおります。試合に勝つことだけでなく、人間としての資質が磨かれ、その競技を牽引していくような選手が育成されていくことを目指しております。

スポーツは、「する、見る、支える」などの観点から多くの人々に親しまれ、その活動を通して、共感力を育み、人と人がつながることで、感動が生まれます。「卓越」「友情」「尊敬／尊重」の精神を大切に、競技力が優れていることはもちろん、一人の人間としても模範とされ、たくさんの人から憧れられるアスリートがジュニアオリンピックカップ大会から誕生することを祈っております。

本大会に参加する選手の皆様方には、最高峰の大会出場を目指し、スポーツの価値やボウリング競技のすばらしさを世界へ発信していただきたいと思っております。

結びに、本大会の開催・運営に向けてご尽力された公益財団法人 JAPAN BOWLING をはじめ、関係者の皆様に心から敬意を表すとともに、本大会のご成功と選手の皆様のご健闘を祈念し、挨拶の言葉といたします。